

令和6年11月1日

報道関係者 様

島原市教育委員会

第46回北村西望賞教育美術展表彰式の審査委員長講評について

先ほど中止をお知らせいたしました、11月2日（土）開催予定であった第46回北村西望賞教育美術展表彰式において、予定しておりました審査委員長の講評を参考資料として送付いたします。

未来へつなぐ島原らしさ 暮らし続けたい、訪れてみたい、魅力あふれるまち



担当：島原市教育委員会 学校教育課 原川 健之
電話：0957-68-5472（内線 643）
E-mail：gakkyo@city.shimabara.lg.jp



島原守護神 しまばらん

第四十六回 北村西望賞教育美術展講評

R6.11.2

栄えある賞を受賞された皆さん受賞おめでとうございます。

審査委員を代表して講評をいたします。

まずは、今回第四十六回を迎えたこの北村西望賞教育美術展には、絵画や版画、デザインなどの平面の部、粘土・彫刻や工芸の立体の部の二つの部門があります。

市内の各小中学校で行われた第一次審査で通過した二百六十二点について、十月二十五日に、十八名の審査委員で第二次審査を行い、その後、五名の特別審査委員で第三次審査を行いました。

このようにして公平かつ厳正に審査した結果、西望賞六点、奨励賞十八点そして入選二百三十八点が決定いたしました。

今回の審査で感じたことをお話しします。

まず、受賞された皆さんの作品のよさを三つ紹介します。

一つ目は、絵を描いたり、立体を制作したりすることに対する根気強さや誠実さ、真剣さが他の作品よりあったということです。

二つ目は、色や形など表現の仕方に工夫がよくなされ、他の人より違った視点や見方が作品の中に感じられたということです。

三つ目は、皆さんの豊かな発想力・構想力が審査委員の心を引きつけ、新鮮な魅力があったということです。

次に、西望賞の作品について簡単に触れてみたいと思います。

平面の低学年の一年生 河内 咲輝(かわうち しょうき)さんの「ブドウを食べたよ」は、割りばしペンで画面いっぱい引いた線がのびのびとして、とても美しいです。色調も明るく描かれており、ぶどうのおいしさが伝わってくる作品でした。

高学年の部の五年生 中田 優駿(なかた ゆうしゅん)さんの「ぼくの学校の大きな大きな木」は、黒の画用紙にクレパスと絵具を使い描いてあり、作品の力強さとなりました。特に幹の表情が素晴らしく表現されており、堂々とした作品になっています。

中学校の部の三年生 宇土 杏(うと あんず)さんの「晩秋」は、ネコのいきいきとした表情が印象的でした。特に目や鼻、ひげ、毛並みなどの描写力が高く、色彩も美しく素晴らしい作品となっています。

立体の小学校低学年の部の三年生 池田 佑亮(いけだ ゆうすけ)さんの「背泳ぎにチャレンジ」は、難しかった背泳ぎの練習の様子が手や足、顔の表情などでよく表されています。がんばって練習している様子が感じられ、水の音が聞こえてきそうな作品です。

高学年の部の六年生 満尾 勝義(みつお かつよし)さんの「二〇二四 パリ」は、オリンピックのやり投競技から感じた感動が、手や足の力強い動きで表現されています。また、身近な新聞紙やセロハンテープで制作され、意図がはっきりわかる作品です。

中学生の部の三年生 苑田 彩楓(そのだ あやか)さんの「ムッシュ・ドレ」は、手の構造を捉えた、力強い作品となっています。また一本一本の指の関節や手のはらのくぼみなどもよく観察しており、左右の手から表情を感じ取れる素晴らしい作品です。

今回も西望賞と奨励賞の皆さんの作品には、審査委員の感想を添えていますので後ほどゆっくり見てください。

今回の作品の中で、特に中学三年生の平面の部の作品が充実しており、審査は大変苦勞いたしました。どの作品も個性的であり、審査の先生方から私の講評の中で紹介していただきたいとのことでした。審査の結果は先ほどお伝えした通りですが、とりわけ第一中学校 平辻 結春(ひらつじ ゆはる)さん、第二中学校 原 陽菜(はら ひな)さん、第二中学校 羽田 悠真(はねだ ゆうま)さん、第三中学校 有馬 冬姫(ありまいぶき)さん、有明中学校 織田 歩愛(おりた ほのあ)さんの作品が優秀であり、最後まで選考に苦慮しました。

さて、今年には北村西望先生の生誕百四十年の年になります。今回展示会場には先生の生涯や功績を紹介する展示が準備されています。また、今回のパンフレットに一部掲載されていますが、先生の制作活動は、一つの作品を完成させるために熟慮に熟慮を重ねられたことがそのデッサンからうかがえます。

ぜひ皆さんも西望先生の一つ一つの作品に向かう姿勢を学び、何事にも自らの思いや願いを強く持ち、誠実に、根気強く取り組んで表現し、心豊かな人間になっていただければと思います。

結びに、この北村西望賞教育美術展にご尽力いただきました関係者の皆様方に心から感謝申し上げ、審査の講評とさせていただきます。

受賞された児童生徒の皆さん、そして、ご家族の皆さんおめでとうございます。